

名古屋商工会議所

「各種補助金説明会」開く

融資制度の最新情報を提供

名古屋商工会議所では、10月14日午後2時より、名古屋商工会議所2階ホールにおいて「各種補助金説明会」を開催した。説明会には、中部経済産業局、愛知労働局、愛知県からそれぞれの担当者が出席、最新情報が提供された。



名古屋商工会議所で行なわれた各種補助金説明会

説明会は、名古屋商工会議所からの開会の挨拶の後、経済産業省の中小企業支援策についてと題し、長谷川昌志中部経

LuxelJetシリーズに樹脂系材料への高い密着性を持つインクが登場

「UviJet KAインク」

FFGS

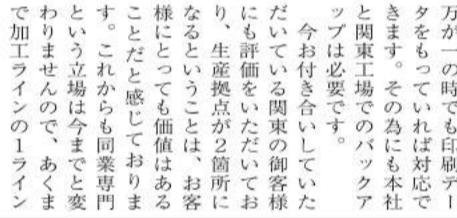
富士フィルムは、ワイドフォーマットUVインクジェットプレス

「LuxelJet」シリーズ専用インクの新たなラインアップとして、アクリル板などの樹脂系材料に対して高い密着性を持つ「UviJet KAインク」を富士フィルムグループが求めている。

富士フィルムでは、このようにした要望に対応し、この「UviJet KAインク」を開発し、発売を始めた。このインクは、アクリルやポリカーボネート、PETなどの樹脂版や発泡塩ビ板、プラダ版、アルミ複合板、金属塗装板などへの密着性を改良。また、パンデイングの発生や指紋の付着、保護フィルムはがし跡によるムラの発生などを大きく軽減している。

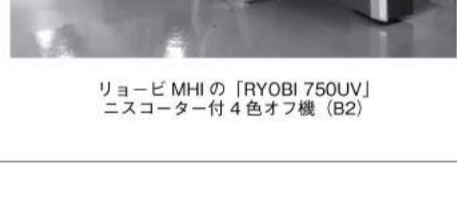
業界はもとより、シルク印刷業界やシルク・ラベル業界においてもインクジェット化を促進し、多彩な色づかいや美しい階調による豊かな色表現、データ再現性の高さによる的確なカラーマッチング、版が不要なことによる作業の効率化およびコスト削減などを実現することが期待できる。

①樹脂板および金属塗装板などへの密着性が極めて高い、②プリント面の指紋付着や保護フィルムはがし跡による色ムラを軽減、③プリント時のパンデイング発生を軽減、④「UviJet KAインク」(既存色)と同等の柔軟性、



LuxelJetUV3600GT

「さらにリスク管理を徹底する為に本社と関東工場のサーバーが直結しており、システムのバックアップをはじめ印刷用データの過去1か月分のデータを保存し、ミラーリングを行なっています。万が一の時でも印刷データをもっていれば対応できます。その為にも本社と関東工場でのバックアップは必要です。」



リョービMHIの「RYOB1 750UV」ニスコーター付4色オフ機(B2)

「UviJet KAインク」を富士フィルムグループが求めている。このインクは、アクリルやポリカーボネート、PETなどの樹脂版や発泡塩ビ板、プラダ版、アルミ複合板、金属塗装板などへの密着性を改良。また、パンデイングの発生や指紋の付着、保護フィルムはがし跡によるムラの発生などを大きく軽減している。

補助金、あいち中小企業応援ファンドによる補助金についてと題し、金田学愛知県産業労働部産業労働政策課主任幹事、中小企業金融、ファンドによる助成などが説明された。

「経済環境適応資金」があり、いずれの資金も、原則固定金利で信用保証料も低く設定。また、身近な取り扱い金融機関の窓口で申し込みができる。愛知県(各種補助金の詳細については、本紙新春特集号において詳報予定)。

「さらにリスク管理を徹底する為に本社と関東工場のサーバーが直結しており、システムのバックアップをはじめ印刷用データの過去1か月分のデータを保存し、ミラーリングを行なっています。万が一の時でも印刷データをもっていれば対応できます。その為にも本社と関東工場でのバックアップは必要です。」

「関東工場では、リョービMHI製の「RYOB1 750UV」をはじめ、ワンストップの生産ラインが導入された。これによりハガキで月産100万通が生産可能となった。関東工場の開設について、渡辺達也取締役副社長は、「どんな場合でも受注した仕事を必ず納品する為には、この関東工場設立は「リスク分散」であり、生産拠点が2箇所になることに大きな意味がある」と話している。

「関東工場基本情報」工場責任者・伏見工場長 長 175・0091 / 東京都板橋区三園2-16-7 TEL・03・6909・2064 FAX・03・6909・2065

「大阪営業所」〒533・0013 / 大阪府大阪市東淀川区豊里7-11-3石崎ハイツ 307 TEL・06・6815・3638 FAX・06・7658・6506

東京・板橋に関東工場竣工

生産拠点が2箇所になる強み・リスク分散

全国的にも知られている株式会社メイセイプリント(渡辺敏夫社長、愛知県清須市)は、このたびに東京板橋区三園を、2014年9月に竣工した。同社は2014年5月に東京営業所が移転し営業部門として、関東営業所が開設されていたが、この度、生産加工ラインが新設され、生産拠点が本社工場、関東工場の2拠点となった。関東工場は10月から本稼働している。

「関東工場では、リョービMHI製の「RYOB1 750UV」をはじめ、ワンストップの生産ラインが導入された。これによりハガキで月産100万通が生産可能となった。関東工場の開設について、渡辺達也取締役副社長は、「どんな場合でも受注した仕事を必ず納品する為には、この関東工場設立は「リスク分散」であり、生産拠点が2箇所になることに大きな意味がある」と話している。

「関東工場では、リョービMHI製の「RYOB1 750UV」をはじめ、ワンストップの生産ラインが導入された。これによりハガキで月産100万通が生産可能となった。関東工場の開設について、渡辺達也取締役副社長は、「どんな場合でも受注した仕事を必ず納品する為には、この関東工場設立は「リスク分散」であり、生産拠点が2箇所になることに大きな意味がある」と話している。

「関東工場基本情報」工場責任者・伏見工場長 長 175・0091 / 東京都板橋区三園2-16-7 TEL・03・6909・2064 FAX・03・6909・2065

「大阪営業所」〒533・0013 / 大阪府大阪市東淀川区豊里7-11-3石崎ハイツ 307 TEL・06・6815・3638 FAX・06・7658・6506

2014年10月1日 圧着DM専門 関東工場 始動

私たちメイセイプリントは考えます。これまで以上にお客様の信頼を得るために何が出来るのか? その答えがここにあると信じています。「メイセイプリントは関東工場を10月1日にOPENします」今後も「安心と信頼」をお届けします。代表取締役 渡邊敏夫



名古屋本社 月産 圧着DM 500万通 宛名印字 300万通 ふち糊メーカー 100万通

関東工場 月産 圧着ハガキV折 100万通

株式会社メイセイプリント 品質に安心 築く信頼 検索 TEL:0568(26)1385 FAX:0568(26)1370

【新本社・工場】北名古屋市鍛冶ヶ一色西2-141 関東工場 〒175-0091 東京都板橋区三園2-16-7 大阪営業所 〒533-0013 大阪府大阪市東淀川区豊里7-11-3石崎ハイツ307